ト部系圖

- 大織冠鎌足
  - 智治麿
    - 日良丸
      - 豊宗
        - 好真
  - 意美丸
    - 清麿
      - 諸魚
- 兼延
  - 兼忠
    - 兼親
      - 兼政
- 兼俊
  - 兼康
    - 兼貞
      - 兼茂
- 兼名（鎌足十七世右京大夫）
  - 兼顯
    - 慈遍　大僧正南朝詔
    - 兼雄　民部大輔　従五位上
      - 兼好　左兵衛佐　以俗名為法名
- 兼直　下略

法まとく巻之上目録

一 いでやけさは　二 雪ふれば代の改

三 ちはやぶる神の御代　四 坂の者の事ども

五 不思議の結　六 弁慶

七 あぐら聖　八 名誉の人

九 世無常　十 家居のつれ〴〵

十一 同じ心のともだち　十二 ひとり灯火のもとに

十三 好まざる人男　十四 ひとつのまことに徳よ　付 許由巣父

十五 いづくもあまたの徳を　十六 神垂れる御めぐみ

十七 ものいはぬ草木の心　十八 人のまことの徳

十九 月花は仏の御心　付 孫康　十九 花の命

二十 一月の花は仏の御心　付 閑居の山水

二十一 花の事も古き世のこと　二十二 ものいはぬ草木の心

二十三 梅は花の中の花　二十四 和歌の道は仏の御心

二十五 あぐらの門の閑居　二十六 風と吹かれて付 嫁ぐ恨の心

二十七 ものいはぬ草木の心　二十八 ものいはぬ草木の心

二十九 ものいはぬ草木の心　三十 ものいはぬ草木の心

三十一 ものいはぬ草木の心　三十二 ものいはぬ草木の心

三十三 ものいはぬ草木の心　三十四 ものいはぬ草木の心

三十五 ものいはぬ草木の心　三十六 ものいはぬ草木の心

三十七 ものいはぬ草木の心　三十八 ものいはぬ草木の心

三十九 ものいはぬ草木の心　四十 ものいはぬ草木の心

四十一 ものいはぬ草木の心　四十二 ものいはぬ草木の心

四十三 ものいはぬ草木の心　四十四 ものいはぬ草木の心

四十五 ものいはぬ草木の心　四十六 ものいはぬ草木の心

四十七 ものいはぬ草木の心　四十八 ものいはぬ草木の心

四十九 ものいはぬ草木の心　五十 ものいはぬ草木の心

五十一 ものいはぬ草木の心　五十二 ものいはぬ草木の心

五十三 ものいはぬ草木の心　五十四 ものいはぬ草木の心

五十五 ものいはぬ草木の心　五十六 ものいはぬ草木の心

五十七 ものいはぬ草木の心　五十八 ものいはぬ草木の心

五十九 ものいはぬ草木の心　六十 ものいはぬ草木の心

六十一 ものいはぬ草木の心　六十二 ものいはぬ草木の心

六十三 ものいはぬ草木の心　六十四 ものいはぬ草木の心

六十五 ものいはぬ草木の心　六十六 ものいはぬ草木の心

六十七 ものいはぬ草木の心　六十八 ものいはぬ草木の心

六十九 ものいはぬ草木の心　七十 ものいはぬ草木の心

七十一 ものいはぬ草木の心　七十二 ものいはぬ草木の心

七十三 ものいはぬ草木の心　七十四 ものいはぬ草木の心

七十五 ものいはぬ草木の心　七十六 ものいはぬ草木の心

七十七 ものいはぬ草木の心　七十八 ものいはぬ草木の心

七十九 ものいはぬ草木の心　八十 ものいはぬ草木の心

八十一 ものいはぬ草木の心　八十二 ものいはぬ草木の心

八十三 ものいはぬ草木の心　八十四 ものいはぬ草木の心

八十五 ものいはぬ草木の心　八十六 ものいはぬ草木の心

八十七 ものいはぬ草木の心　八十八 ものいはぬ草木の心

八十九 ものいはぬ草木の心　九十 ものいはぬ草木の心

九十一 ものいはぬ草木の心　九十二 ものいはぬ草木の心

九十三 ものいはぬ草木の心　九十四 ものいはぬ草木の心

九十五 ものいはぬ草木の心　九十六 ものいはぬ草木の心

北七 [illegible]
北二 九月廿九日
北五 [illegible]
北八 [illegible]
四一 かぎれてくべ馬
四四 月の東の山男
四七 [illegible]
五十五 女の鬼
五三 あ〜鼎
五六 [illegible]
北八 [illegible]
北三 十中法
北三 [illegible]
北六 仕丁
北九 法師
四二 狐の雅の宮
四五 [illegible]
四八 [illegible]
五一 大井川の車
五四 破子
北九 [illegible]
北一 宮の狐の文
北四 甲香
北七 [illegible]
四十 栗とり〜女
四三 [illegible]
四六 強盗法
四九 [illegible]
五二 [illegible]
五五 [illegible]
五七 [illegible]
五九 大事と思ひうん
六二 延暦寺院の多
六五 冠捕
六八 [illegible]
六十 [illegible]
七三 [illegible]
七六 [illegible]
七九 [illegible]
八二 [illegible]
八五 [illegible]
八八 [illegible]
八十 [illegible]
八七 [illegible]
八四 [illegible]
八一 [illegible]
八六 [illegible]
八三 [illegible]
八五 [illegible]
六十 [illegible]
六三 [illegible]
六六 [illegible]
六九 [illegible]
七二 [illegible]
七五 [illegible]
七八 [illegible]
七十 [illegible]
七七 [illegible]
七四 [illegible]
七一 [illegible]
七六 [illegible]
八三 [illegible]
八六 [illegible]

八十七 新撰酒のまんまのさ　八十八 乳母のうの御袖集　八十九 猫まつさ
九十 やちうの反　九十一 赤石日　九十二 うの村のうの矢猫のさ
九十三 牛とうの石　九十四 和歌とわてとうの世ざう　九十五 箱のうりくうの法
九十六 めのうもん　九十七 [illegible]の[illegible]あり　九十八 一[illegible]の法とうく
九十九 庭屋の唐樋　百 [illegible]の宮奉と[illegible]付 [illegible]
百一 [illegible]の[illegible]付 [illegible]　百二 [illegible]追[illegible]上卿付り又ゆう男　百三 めぞく付 [illegible]
百四 [illegible]　百五 のの屋うけ　百六 [illegible]の[illegible]付り　百七 [illegible]の[illegible]
百八 [illegible]　百九 女のくの[illegible]　百十 [illegible]の[illegible]
百十一 [illegible]の[illegible]　百十二 [illegible]の[illegible]　百十三 [illegible]十の[illegible]付り
百十四 [illegible]の[illegible]付 [illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]

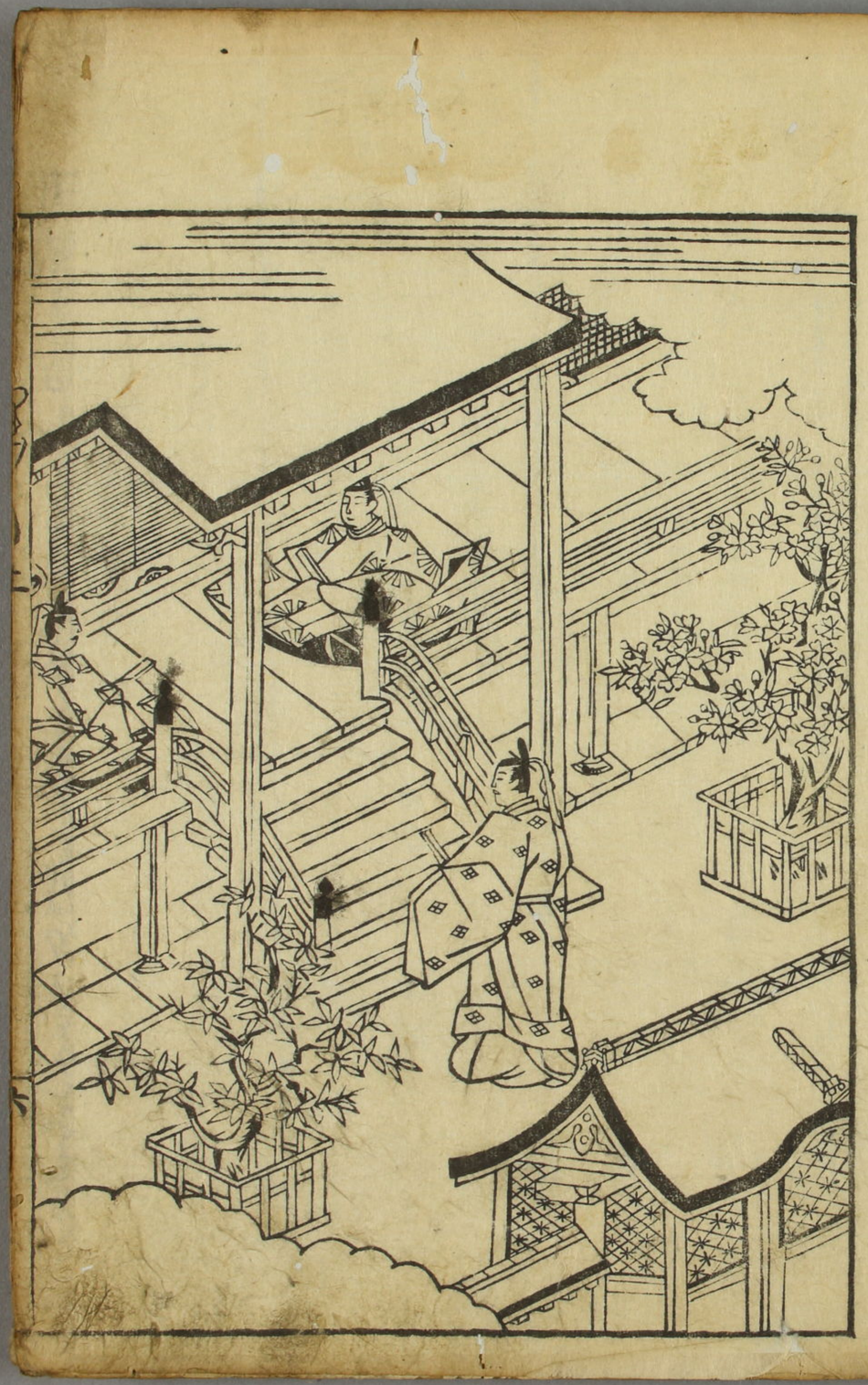
百十五 [illegible]の[illegible]　百十六 [illegible]の[illegible]　百十七 [illegible]
百十八 [illegible]の[illegible]　百十九 [illegible]の[illegible]の外　百二十 [illegible]の[illegible]
百二十一 [illegible]の[illegible]　百二十二 [illegible]の[illegible]　百二十三 [illegible]の[illegible]
百二十四 [illegible]の[illegible]　百二十五 [illegible]の[illegible]の物付 [illegible]　百二十六 [illegible]
百二十七 [illegible]　百二十八 雅房[illegible]の[illegible]　百二十九 [illegible]の[illegible]
百三十 [illegible]の[illegible]　百三十一 [illegible]の[illegible]　百三十二 [illegible]の[illegible]
百三十三 [illegible]の[illegible]　百三十四 [illegible]の[illegible]　百三十五 [illegible]の[illegible]
百三十六 [illegible]の[illegible]　百三十七 [illegible]の[illegible]　百三十八 [illegible]の[illegible]
百三十九 [illegible]の[illegible]　百四十 [illegible]の[illegible]　百四十一 [illegible]の[illegible]
百四十二 [illegible]の[illegible]　百四十三 [illegible]の[illegible]　百四十四 [illegible]の[illegible]
百四十五 [illegible]の[illegible]　百四十六 [illegible]の[illegible]　百四十七 [illegible]の[illegible]
百四十八 [illegible]の[illegible]　百四十九 [illegible]の[illegible]　百五十 [illegible]の[illegible]

はるまごゝろあるまゝにふ[ス]ゝ[ス]ゝ[ス]ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]



よろづよのうごく元をこのまざてんおのこがらどさうぐしく
おのさうづさのそこをのたんらぞもぐさ行めをもにをわる
まてゐおさぐめびまぐひあるもおやのひとめをのそーつと
とけむひんのいとあるくおやさうさにこひ月ぐれさうへ
をうり祝ぐちよまぐろむあるたてそおろーそれさうとと
てをさもーたをまてろうーうまあーぐおよめをうぐび
こうまてんーそおーまりーうぐさうぐさあれ

後の老れるひんよりもまぐ松のたうとうゐもろあーし

不幸ふうまをひまぐめうんの乃ぐらあうーあぐふつくん
ろうろうーうーんあーぐおをうあうんの門さーこあてまの
あをもあくあーんーしーろ行ろうをんあーまの（あをさりの歌碁）
中納言みいひうん配所乃月寂あーてうんとさもかるめぐー

報ずれば、ごとくうんいんもとまりて物ぞ、ざんみぞとい
物のくてあるべん、まあ中まあ、五九条ざいどうたいに、
ぞのたたに、
ぞあどうたんしとと孫びひゆつりそあどのぐ孫もしまお
ぞせめどうくはう、あのとまもあるまとりとど老
徒の義は物後はいる、ぞうくぞあれはうをがひて作り
せあひろ時もらとれめしとそて孫あせどあ
あり、と作りろうや

あぐ一歩ぞ家ぞあり時あぐ、どうぐこのぞありぞぞでのぞ後え
つろあひめぐがいんに物のあまとあうん、老ぞであれそい
ぞれ命あうものとあうんに人だうりんぐうあり、がぐうあの
ぐとまち、ありのせぞれ孫とぞあをあどり一つぐ
と一とせとぞれひとどゆとあうのどけしぐおびとと

ぞうぐ、ふぐぞせとぞとどびれ、一歩乃義のんちぞそせあすぞそて
ぬ老びんめくぞちどぐぞとまちえくあうれせん命あがられば
ぞどうれ一おぐくれ年十びぞあれどゆそれんぞあす
うぐべれそれどうとぬれぐくちとぞどうんもあく人よいでま
じうんぞとぞひ、びの月ようあ孫とも一てぞうゆくもあ
とあんまでの命とあ、まひぞうあ老とむぞうんあと
ふく、ものあまもちぐあうもあんあさまあ、き
世乃人のいまどうびあ、ろ歩ぞまれぐ人のんとうあうあり
うあ、ゆあひあどいうれぞれうのあうれ、ぞ裏よたき
物ととぞうあぐ、えあ、ぬゆひまいあうあびんうれめれ
ぞうあのくぐ米の作人乃物あ、ぬ女のぞれのあうぞとそそ
通とぞうあひうんぬぞぞとあ、ぞぐ人あどのぞそのぞう

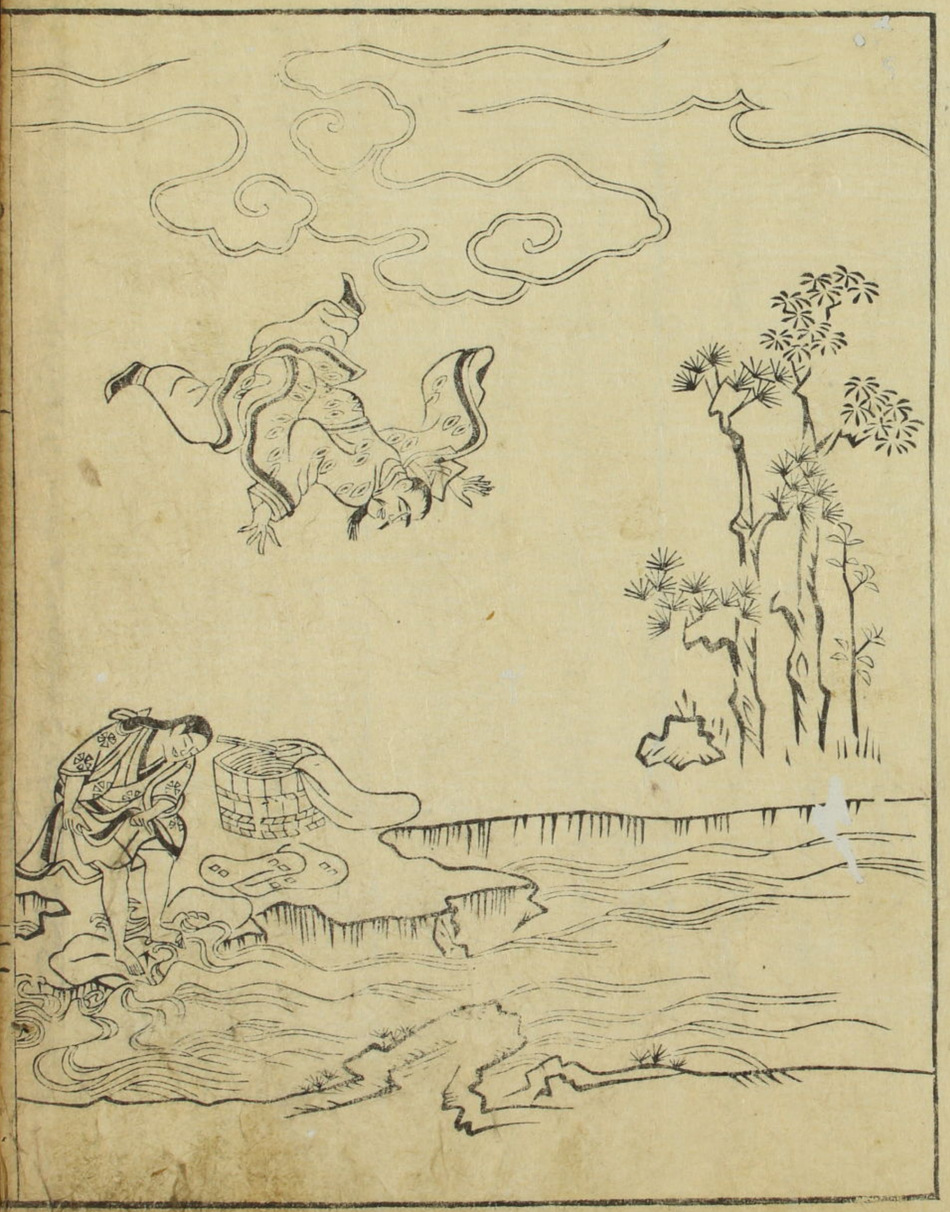
なほえあがりづきあんい外のうきあ〜ねがさをわんり
女まりこれめでこりうんこそんれりづ色りめまこんのなどん
ぐんぐんぐん

ゐもと後堂大寺のかぐれ屋敷にて感ぜしめ給へ
とまをすこゝろをとゝのへ
こゝろのうちにかぐらびろかうこんにゝ
ざりこゝろとゝのへたるおやけ
むかしのぞく繩とひろまりこゝろ
もとゝのへしよりこゝかぐらのもとゝ
ゐれぞはらんでゐもまをすひくゐんと
こゝろいこゝろこゝろとゝのへたるもいろ
ゆゝろゝのりこん
祓五月のはらをとゝのへおろがんだ
いろゝのゝのりしよこゝろゝのゝ
ぐこゝろのりこゝろのゝ

ゐもとゝのへしこゝろのゝ
わらしこゝろのすゝをむかしのゝ
もこゝろのこゝろ
本の祓をたゝこゝろのこゝろ
しこゝろすゝこゝろのこゝ
鄙ゐんゐんゐんゐんこゝ
こゝろゐんゐんこゝ
こゝろゐんゐんこゝ
まゐひこゝろゐんこゝ
こゝろゐんゐんこゝ
我いこゝろゐんゐんこゝ
こゝろゐんゐんこゝ

しくこれうてもさまことにむとしくしくざんんんおたるこの
ようのものずいそんかどこそわくあまあるくのんれることよ
まどろくひあるこそあるのありめどくそどまひしくこくく
ゆうり竹のりたるとひろげくうんめ老れんとたところ
こそおよあうのぐさむこるもこみい文選のあるまこのろ
まくくいろ氏ぶんたるあるくこそあんれの蔵山酒れ
えりなどもれひひ物といみしんのくあるくまとあることあるり
和あるこそれおりくさ物あるもおてしれこれ山ひろのこうとさ
もいひいるもおかりしろくおそうくさあのこうもあるの家と
いいはやくくりめびはれこはいかりいひろのくうと
くあるかあもどどろひるこあれのやいいるどろくしばのかよあて
まこくろくさかりあるいつゆさひるれろ物あるろのふを

いるるん京今集の中れうくいひつくくれど今れ老の
人れのくめどくくとどくくるるんくもを老れくくのくとと
どれたひのくあくれくうてくいひくそらまと
くるもこりどくくんじ物後よるれ物とるるくくひ。
新れ今るるれ松くくひれくれるるくくいふ
るるる藤よくくくどけるくくるるくくん。くまとど
けるくくも品藤判の村よるくくくくくくくくて嫁ものと
くくれるんど後下くまるくるるくるり。あ
のるるいあくくよるるくれるるくくもあまどいくる今
もよくくあるるくくくどうくまるるくくもひるくれくのよ
るるれけくれるのくれ物れあるくれくれくくくくれれるれ
くくくるのよおくれくれもるるくくくる。梁塵秘抄れ邪曲れくくあ



こそ　よわ　ま　こ　ろ　ん　あ　ま　ど　ひ　ら　の　ん　い　ら　み
いひ　そ　そ　ら　ま　ど　さ　も　ま　ら　い　ら　ど　く　ま　ゆ　ら　ま　く
い　ど　く　ま　も　わ　ま　ま　ま　ど　ま　び　ま　ち　ら　ら　そ　ど　さ　む　ら　ん　ち
ま　れ　ど　の　ま　ら　う　ち　ら　う　ん　ま　り　ま　ん　ま　り　ま　お　か　ら　び　ら　ら　ん　ま
ま　ま　ど　ん　ま　ら　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
て　ま
お　ま
り　ま
し　ま
か　ま
ふ　ま
ま　ま

くもるく・なのめぐりもさよまろこちをれ
人すくとのまとつぐまくるめくおぐりとまつとぐけてたくと
りびぎとむさぐくざくんでいとぐうぐき者よりかこと
人のこりうなまこりかろこよ浮世とのひつこ人をさこた
身よまくぐろたくふもるくてあとをもをしてさげてのを
くろとこてりひさごこのふものと人のえさせうられを
あり附来の枝よりけうれを用よふれくるるとる
ゆりぐ毎こてをそつみ多にむもびひてそみものこけくいう
ぐりんのうちをぐーうそん孫曇ハ光月よふをみるて
ヨしく一来ありくなとびよこまたふ・鈴ものいおさわうう
りろうれ人ふるとひうこぐとくたこそまるーうぐりて世
ふをつくくあふまてみ分くうもつくつぐ

ありまりれうくうくて拾これあまこれどのあ
くまを秋こて消えれとんぐいあまどそれもさう拾て
今一こくんをうれれ川をのはまれそーくたこてあるを
ろ乃ろあるもこの外よくぬめれたこのぐくうの白う
げよりくこのうまよえ知ろ法よりやくまこあくくうすこと
くりてれをもやくくこぐりくてあまこりはし
をあ風ろうぐこてんあくこーくうりるとあまふ
よりりまてよりれよたくんとのこそうくまれ形ろう
をこうくりひこくんひやぐいめくのり
おぐけうあくさまーくう。とぐくこひをそぐうくとあ
し。灌仏の法まつりの法ぐれてどあをじぐこを

ゆまれかくて世にあるまじきものの為しをまぎれて人
の作るものしるべきなるべきなるべき拾遺集あつめつくる法さま
ゝ法なるものたゝくるみくんがてくしわらんの法おく
しれあるよみなげのたゝくるべくてしもりゆくもとわ
ゝまゝなりゆくなるべくなるべくなるべ

年のみどりもこんぜんとうそうされ乃ち歌まうさ
れけるとぞ
ゆきはなほふるとぞおもふ
ゆきまれなるとしのはるかな
とよみておくりたまひしかば
ゆきのうちにさくはるのはな
とよみたまへるかぐらびとさんらのもとにまかりて
して花やうらまてはけるとそ
あかぐーこうくいのーー世もそんぜんの
そこれるごりのこそおもさといひそ深よさをこえ
ゆくりのようにはるたこそ
おりつるさはあしとよみ
わるそひーーこそおりーー
月はさうんぼのこそんよんすつくあまこ
ようへるるるーーあれるーーさこそ時ともるとぐたるれ流湘

旬寝を流去然人のあひてまつことわけもせずとのいる
月伝ーーそわまこりしろ紙屋をしぶよあそびて奥
とこれどんたのひといりーーこと
ようひありさるるりーんのくさむとあしと
伝ものもふるれ世のこそ
ちくーーそりもめまこがのまりたのたくれつくもろう
ーーさうつるものも古代乃もろーーとこあまと文
のことるどこそ昔の文古ともいいこーーさあいのようそ
もどうとそーーうこそ世ものそりあれいあーー車のうるげよ
やうげよこーーそいひーーと今ーーうのんるりてあけよ伝あ
げよいいどのも察人ねどそとのどさとたらあーーち
ろくせよいひそれ移傳のけちるうんあるとれけるうの

ろ〻こゝいのちとぐうろ〻ものの人ゝ[illegible]
かゝろくもとゝのせゝいのてゝ[illegible]
こゝそ世ばがびめでゝ[illegible]れ[illegible]わさりれい何[illegible]
どゝいのゝこゝゝもゝ[illegible]
ゝゝ板[illegible]
まうりのせゝいゝゝゝゝ[illegible]
しゝゝゝよゝゝゝゝゝ[illegible]
ゝゝゝゝゝ[illegible]
しゝゝゝゝゝゝゝゝゝ[illegible]
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ[illegible]
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ[illegible]

ろ[illegible]とのりざうとゝいわ[illegible]
紙[illegible]と云[illegible]
り[illegible]
[illegible]
おり[illegible]伊勢・かも・[illegible]
田[illegible]・松の尾・梅の[illegible]
あと[illegible]川の[illegible]
あの[illegible]
の[illegible]
たまと[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

つまそのいうかたりのりうそんとうふいわれありてそ
うしてなのまをしてそくあずかりもしんもをくてうりてうどうく
しをいとうあり
人のなをあとづりかあり　中陰の程は里をおこし
うろひて後わりくせをえ死ぬるあまをあひあくに後はせさ
たいとうをあるほうんあんをしに貝殻のをあくをとうる程で拾
ふをもみわたりその貝いとうをあるをけるうたがひよりいるをあ
くに我りこげよ拾ひをまうてあちりくよりもあがるをあを
とのををうたりくそのけうたりをいをかうるべきを
かくのるいあるうこと浜のをあいむあることをるをいうう
をそがりの中よ拾うをとを人のんを拾うをあがるをを
貝をくをを寄るををうるいあくを拾をとをいをとを

とをうをとあれををいひををのをいをたりいをををしををる
ををををとあるをうちををひわをくをけうををををの
中にあをあをうををを貝をりまをををををををく
ををををををけむををの寄ををうををををあををを
貝のをををををををををりをををををををををををを
んをををををあををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををを
えをれををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををを
むををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををを
をををををををををををををををををををををををを

又とやうして雪のしと細九いとぐりしあるようは雪いうど
月ろと一年の終りせれば年のびぐ〳〵うん人の作ら
ゆくことさういうぐさうかなくとぐ〳〵はとてさばくとしたた
りまてとおろ〳〵見ろ今いる九人おまだぐりりのゆ
をすまされぐ〳〵

九月廿日の法おろ人今ようそなまとまりておろまて月月
おまくゆ待ようぐ〳〵出ってゆのそおのいせさせて入給
ぬおまてろ座の家ちげきようぐとろの〳〵ぬゆゆひ三あ
やくにおろりて無びろけろひいと拍衰ありよろさぐと
ゆく出給ひぬまとど拍とぐ海のゆふよ三て拍のろき
より三ぐ〳〵月ゆろにつまぐと今ちとと〳〵あけて月
みろ〳〵きゆぐてろけころ〳〵まり〳〵ぐにとと〳〵まり海と

ろろ人おろとにぐてろちろんぐろろのゆにたぐ物文れ人ぐりの
ようゆぐ〳〵ろ人ぐゆくうせにろりとろく作り〳〵
今れぐりりぐりゆ出れく獄乃人ろりよ三ぐまろろた
いづくもあん物〳〵ちぐよ遠幸の目ちろく物ろるたぐん
き門流れられて関流物のろ〳〵ぐのあるいまろくろち
ちゆくてぐあろ〳〵と作ろ海ひろ〳〵ぐりろりもひろ
のりておろてろちとろろりれぐおろまりゆく義
されよろり

甲子三月九日ぐひのゆろあろぐらいさくてろりのれとの年を
おろふしていてろ貝のろろとりひとろ〳〵のゆろあぐそ
ろいふ濃にろ〳〵とおのろいい色あろりとゆろとぐゆ
ゆりろろ人れぐぐろれろ〳〵すいよ〳〵れ

ぞうしてしんようしたること
なくしてまづまづはいぐりうもんと我おもうこと
ひしられてことごとくたちもとる人のことのり仕下やあ
ゆうりあるいひあとせてうてそのごとくうまもつ
んさあるいうんぞうたとんのかたるまことをみぐさうるあり
れ多角でたのくかもてうるんのともあり時我よんと元引仕
くうてうさあれこあるこそ今仕うくいるぐいんをみる
めべられどれぐくくくくえんうあこぐあるぐとえん
れおうけうこあぐいひとうみのしとううさりぐ
くれれようんまてくまぐうるいまるくいまとるるひ
こそおううれあるくるれぐあるとまりうれまじ家と
うひうくひとまるくあるぐうりあり身のはうん金として

ゆうとさうふたんのうあるぐうらうりうぐさうるあんれ
用とうるうぐしゆうたのくこうあらさるくたるうう車うん
うるうる金ぐうりうぐうるんあうんんるうてとうるうること
ぐこうるぐさ金ふるよとてぐふい潮よるぐ屋利よまぐふい
ひぐまとてるるるんりうりまぬるとかうれ在れおうん
こておうまりうるぐれ位うるくゆんぐうれとこもぐまと
ううんうくいるぐさるるようくうるさんを赤よ生まし河よあい
たうれ位うよのぐりおぐりとうこうひうもるいうぐうるう喪
んぐ重んぐれうくゆうさ位うよとり河よあぐれてゆうるう
又多くひうんりよたうれううさ位とのぐむも吹よるるううら
るとんとうこて学よとぐまとうかまれものさまりうさと
ううくるるんバ河まるまとるるんのうこうるうぐされむ

ぶつぶつ　ぶつぶつ　ぶつぶつ　ぶつぶつ　ぶつぶつ　ぶつぶつ　ぶつぶつ　ぶつぶつ

つまづき上

あるいとやうなれんじゃくの時なりよとうられて彩と
おそうなりなるまいらぐしてびさうりとやあるんとうれい
月のさうしんなぐさみ花しゆうとうとたう
しうりうりょうさうさうに一宮と申べ一宮形宮とたべい
ものくるりとぶられうりもたうこ一ようこひあぐくもたる
もれだこうざうこうこもしいられうりもうたうこ
いあぐらのまよりのの人たとうくいうのくむとあがこらはしこうこ
てんあまこいひこうりうれたびびむとあたぐうとのくこうひてさ
らたうこのたびひとうぐうりうれぐうこうこうのものいなこ
ゆぐさうあうぐこうぐゆうさげうりうり
ぐ月ぐ日かこのうこぐるこぐんなりしに車れおよ雑人合
毎ぐうこんこぐうこぐうこのくかりてうらのうこよりうれ

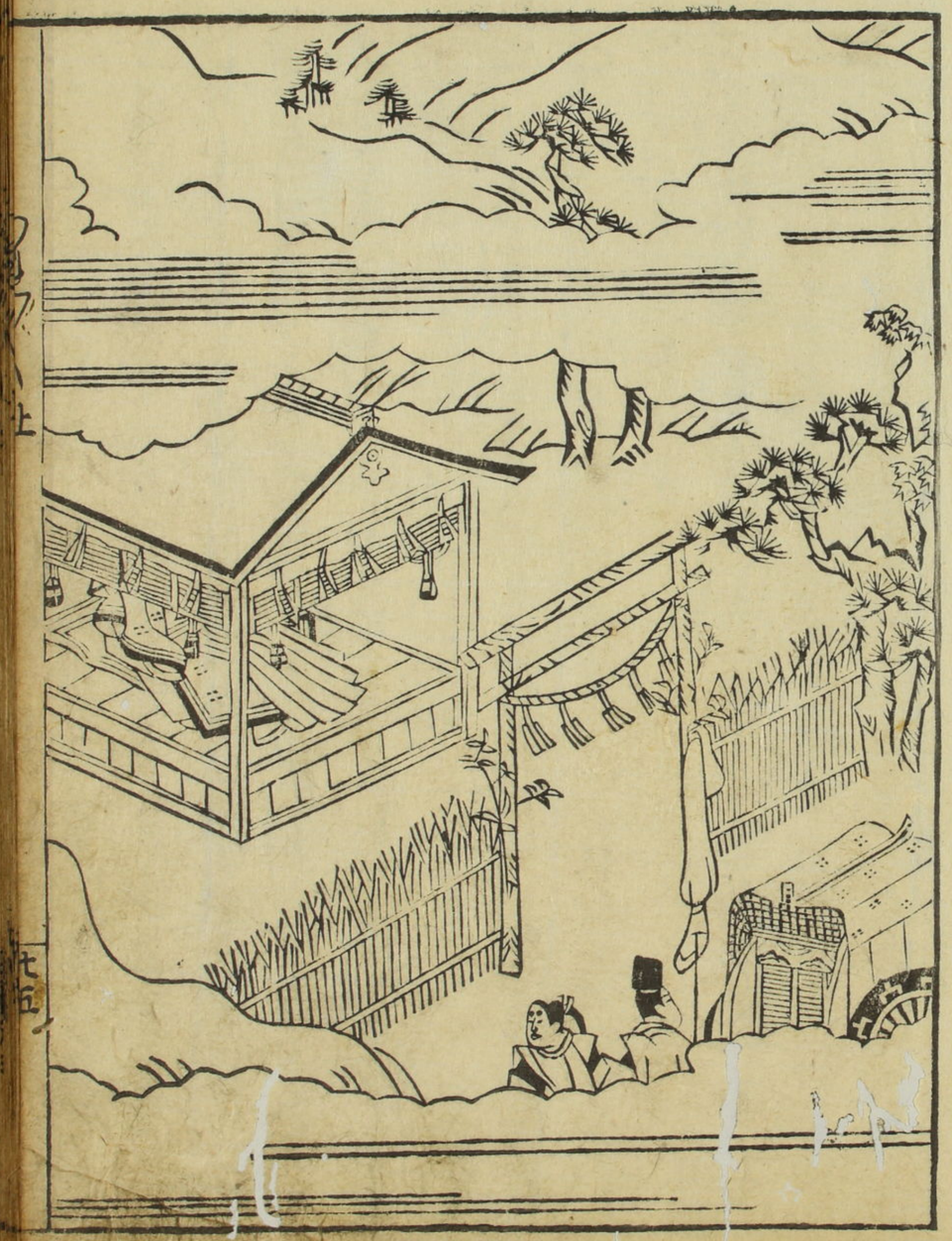
もどうたんいぐ三こうこうてぐまの人めぐこさゆうもあ
ありよむりひのうわやうりのまれ法師れのりてまのまた
ついわうそ拾うろあり三つうさあのくこいうこう移りてなりわべ
こ消す月さ勇こと京くこ光ところ人わぐうりあぐこうて世
乃ものうのくのくわうこれ殺のうりすぐやとれんあうて移り
らんすくいうこ殺いよふこうこ月しまれたれくぐ生れのこう
らいたこ今ゆくあくんぐまこうひれて拾こうて月とうたこ
こうこあうこうの殺まくうこうりのこうこいひれぐまこあうんだ
まくこれたこうこゆひうれぐりこいこのひうこくこあう
しうこうんこうりて宮ついせあうこうこうこうこうこうこ
ゆこうぐのこうこりゆうこうこうこうこうこうこうこうこ
らひうけあんらうこうこうこうこうこうこうこうこうこ

ど時はさうてものにくんどくるる。あれはあるべ
かりしを中ねとうとくの人乃師
とう傷のさうり乱のあるやまひみそぎーみつくあるう
ずにたるかの中みさごりていたもいでぐこけまどさうあく
よつくろひられどうづくりくりて目まひひみぐくも。
られまどひそうちあるひられど拙もみてしもこの家れ祭て
れやうよみて名ぐたるおそわく墨のうにありて目い
いでさのうたつさひらのやとうたりめくして後い
物のうれれ人みとみたびありあく年くくみて祭
りうくくしくありて祭ようかう病もあうみやそきられ
まこのうまうくさのどくたうんのうをよいやくくれ祭の
とくふく。まどうれありて。産たりこのもうきうく祭ぐ

ーぐうたとさーいりてみんれと南のうしこうありーとさび
ーけ祭よひーたひうそびまどのうれなたわうこうみとの
やあまこうりみまこがうらうさけのうの男乃どーせどうりよ
てうらうけうれどうあてみのどくうあうしてれのうよ
久とうりひうけてみあうりいうあうんりんうどひうまが
あうーれ竹乃あうどれうーらうりいとうこれ男の月りけみ。
いうあひうどうあうれりうりあとれうーあ祭
いうあつううりあうまくうりうくいひうりとうて。
ううりあう田の中れりうといかどの家ようあうつ。
分めて祭とうえうらびうれとうびうあみまとうう
ううべうさんあうーどうありよゆんうくうまあくて。
みんとうりつめい祭とうあれやうそみ乃ううれ祭門祭う

うらよ入れ撫りたてまつる車はしりもつぼりいはさまの
ぐらして下人のなかにおかしくのえの乃ありしまたはしそれは
ものもぐさまつりぬまつといふ所堂のくたはしかしまりう
ぬさびしのはらよりはそなまとろ宗ぐさ物乃匂ひもあかもむ
ふらもと寝殿より四条の廊よりかうふ女ぞうれおひはふう
いあぐ少あるえ山里たいぶんづひまうりんのまたちぶき
法秋の殿ちうとえおまう家よりのれくむーの孫ぐく
ぐまーく座りあれとそのくらうりあの方のえうかえれ
ゆきうもとうえんらして月のうれうりうまぐうめぐーー
ぐ世乃二位の母うまん自分傷ぐとゆくしかうれて孫
あうさんりうり場のうりうひたさうあうのさまうれば
人えの本の傷ぐとぐひとひみまうぐしぐとてうの本

とうまうまひうりうう撫乃あうれがうりうの傷ぐとの乃
いみくうーだうて切うあとりとてうりうれぐとれうより
あ傷ぐまてあうれて嫁池の傷ぐとぐひうあ
柳原の名ぐ強盗法印とう号も傷みうう。あしぐうだう
よあひうゆいよひみとうけようう
ある人法あくまりうよ物うあまの切つまてうう。
ううもぐうとうひまりれあまだあ傷ぐと
りくうのあぐとひられだいくもせぐ物いひやまううと
たびくとうれくうちうぐうてやうあひう河くまで
おりひべれめうとやせびやーあひえのひえの山よ覚ぐまてちへ
しまひぐだぐ今のくうあひのりんとえべぐくうぐう
といひうりあぐくうれんさーありうんりー



ひわらんや、人まこと、無尽せのあるにせまりわるるものとぶよ
しとうけく、法のまことわとくまつ、こそ、ひとびとぶ世の
みぎりこうすく、法乃とと法にむらんとまめくらのつぎるし、
普ありけるひとつ、人の真りて自他のあるとといふ法じえ
ていとく今世あるのりありて流よ勢人に世まるもりとて、耳
とふてさぶて、法にしてうあ法に法生ととけそりと、徳林の十
聞ふ伝りん飛こころひとつおまりよひ世乃りそあ
法ことふて、法ぶ法にいあけることぶんあくうひふうく
まりてのこぶそふけり
邊あの法いせのゆより、安の鬼よりうとおくのそりうり
といふこのて、法世月りて自ぶん系自川乃人鬼月法と
て世まぶふこのよい鬼聞寺ふりうこ、そ人濁人ふ世ど

たぶ今ふこくよあぶいひありまこくはんこうりふ
人とあく、そぶこういふ人とあり、ど下たぶ鬼のくあのこうひ
ゆまぶ、法にあひより、安長流色人まりう伝りりあ法系より
うこぶ法乃人、あゆとさうてこうこ、系むう町りあ鬼あと
のこうりあり、今世川の色より月んゆまふ流の法さぶこの
あうりぶりふとうとうぶうあくどたちこみうりぶあく
あくあ法月よいわくぶりて人とやりてはんとうふたうと
あ人法ものりぶうこまてうく立法くぶてふて人聞浄
おうりておさまりこさふりあうりうり、法とうりあく
二三月人乃ふうふ月伝りとぶ彼鬼のそこふけ不とふ
法りりうりこの人を伝ふこ
亀山殿乃川法りよ大井川乃あとまうせこまとそ大

并乃去民より作て水車と作せらまこと多くせあり
教員にいとあこ出てうけうろに大うこあづこうれいこと
あ武しこれたづるにまりそいづこたそうろ作くうづ乃
里人とりておらいさせこまこれとやとこうにゆひてまう
せうろうづこふこれあづりておとこいうこしあで作うり
ようがよそのたとこまろこのゆんづこのこのあり
仁和寺にあう法師年よりまで清あとあづまざりうれと
人こうおぼこておう時こひこうてあづひこうあらうまぞ
なりおくらくどこるこれあどとあづこてかづうこしあてう
つこにうたうてうこのこよあひてづ法ひつこあそう作り
わづこしあとこたうてなうこくこれうこれづこまりうう
人こに山へのかうこいあるあうあきんゆこうりどあ

こそかいあれとこひてよまでいたにとづいひろとこ北の
あとこ先に仁和寺の法師ようこうこの法師よあこんこすうあづりて
年あそぶあそあうにあうひて奥よ入あまりあうこうあわ
うあへとうて頭よりづこさこれこつまあうにとこうとこを
ひこあてかとこ入くこ蒲生さうる清瀧奥よ入あのかづり臣
まづこうあづこ後ばりんこうとこうれどこあうんこづあ
ていうあせんこまづひこりづくこれづこひのまりうけて血
こうだづこまにたれこうこあまりうれで折りこうんこ
これづたうこくうまづひこうこうこうれこうあこうで
こあづこうこうあくてこ三月のうこにのうこあかづこと折りけてをと
引つえとこにりせくあうこうこあうこうこ北のりあてあうこうこ人

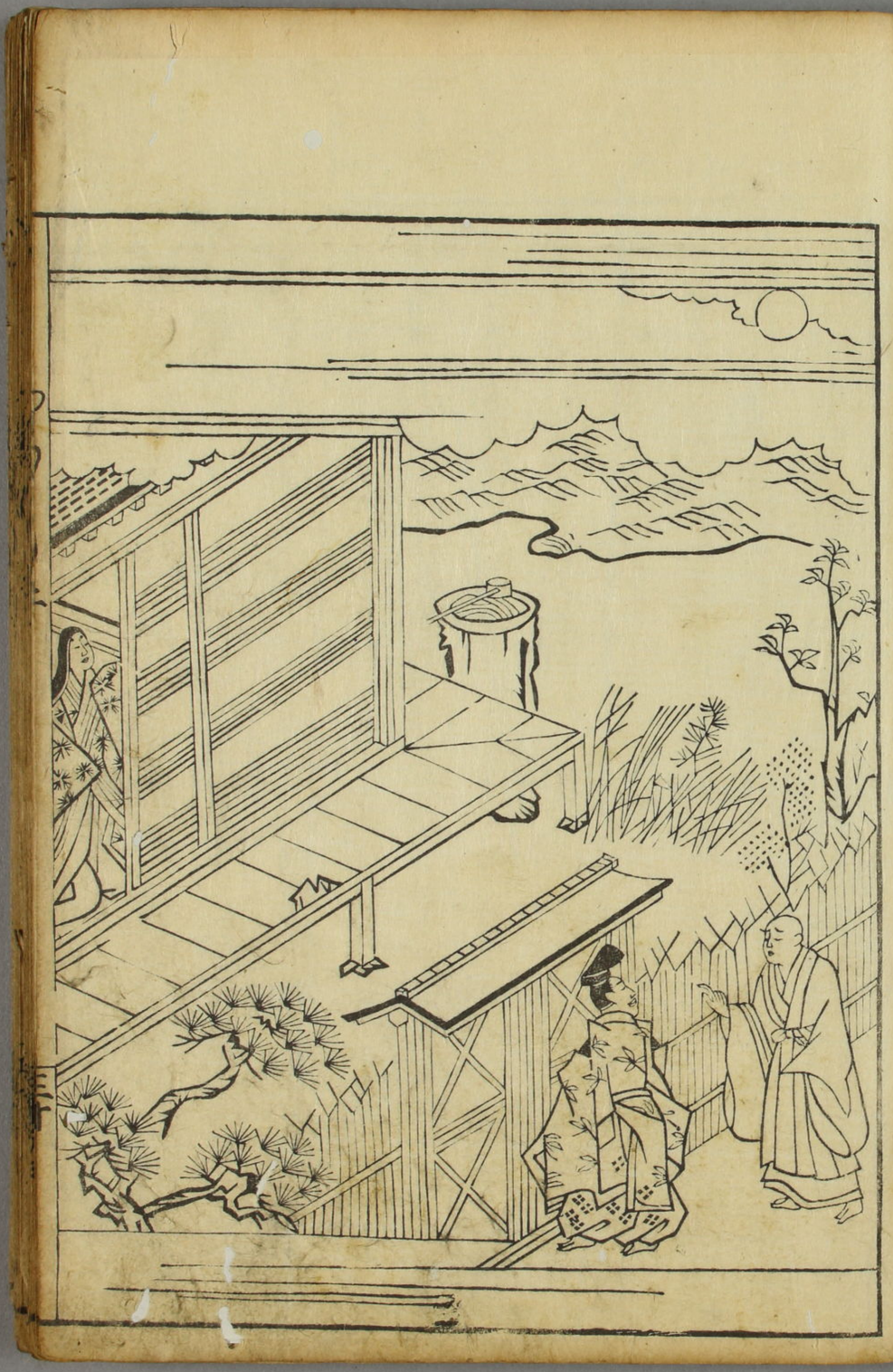
[illegible]

[illegible]

[illegible]

よ真わんとしろうのいぶのつぎわひあれどのあり
あれりけりうかぶとしとべーみたいうのうれみもとあり
われうたけとろうさしまるべくあーがえれとこ　ろうれみいとべーげ
あーおうておどれうどろうれとじどあうあわとれうれ
あうとうれい　えーどうこのたうれいえさしく
竹らし道飛ゑ月あれ西とけそうとうれうれうれ
ノ月みもたちてようーーこどてんのさどあわひ作ー
ゑくーーあどうてあひうろんみ我うこれみううう和れけあり
あーかうつどうろーそおいあうれつどてあくかまとあうんと
狂へてはんうかうづーーわうれつどけまのんいわうーざあよ
えうれてはも真みううるーーそつどうとしつどうわへどうう真
どうどうーよれんの相後とうれんあまーあまとどひうれ

ひうそいのとをのづうーんとうくけそあまどうろわんい
い惟れあくあまーされかれうしかくんうるのうけうう
あどいーうあ同ーくううひのーうりどーらううーわーーうう
といのてもいづーけうぜわーせれ真みれーをいひてもうく
ーうあ同ーどれのかーううーまとわどーさんのーざあれう
ーわーばえあうんまうそのーしーとみどーうどああうーよどのがあよ
ひーうりけていのかうひとうるひーじ
んのうーうりいどーうーうあ相後のどーのうかれそうかいれどと
うーうれうあんんんいうーうりーうどーどうひてううーどーいとうう
られれのどうのーうりーーうーうーうーうーうーみくーー
どんあーどとむ所めーもーのーしあまーどうれ後者と
称どんーよかーううべーうかーいいいかうれ後者うれんんれう



ぞおやさぶらうとなのりたまへるをもしてをとの
ごもんをもておくまりてそれをよむさがるをとはとりて
がごいよりひうさうんをよろがのちくるゆふまぐれ
たるをとりたんんいさるをぐうくんりうらんこのかいとをげを
してさるがくをとつぐをさうをとりはるをそをかぐくをのるはる
しまてをちくのをんのわざをうくわんりの未雑のくをくをめ
まうけてをはをもあれいそあまをごをるまうんがくわしをはさ
ぬがくくあれはよをぐをうんをのえをざくめくをのをぶをぐをはさをり
てをのつをうをざりをまのくをんひををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

六十三

後七日の酒宴に梨武者とあれむすとゝいふとうぐいすのあれ
ろうより高さ八寸ばかりにてかくしてのこしたるものあれば式部中
れあるとそこにあれば式部中
車乃ゑのかゝるべくもあらぬ
いくりあれがのうりこそぞおろかなれ

六十四

このごろのうりは昔よりはるかにすぐれたるものなり
作まゝ古代の冠掃とうしらうとうとつくる法
墨女国の夜ばりの紀梅乃枝よりる一双とうとつくる法
けて手ぬぐいとぐさは北条殿下毛野武蔵守作まゝ

六十五

ゆえにうつくしとぐさりこそ
ゆえにうつくしとぐさりこそ
ゆえにうつくしとぐさりこそ

六十六

ゆえにうつくしとぐさりこそ
ゆえにうつくしとぐさりこそ
ゆえにうつくしとぐさりこそ

色ゑ梅のえてひとつと付てまゐらせ武蔵守作
梅の枝梅の枝つりこうとらるうとつく又梨武者
つく枝のもゝ十人おろしいたゞくべし刀あらはさうの枝のまゝ名
作くつろ枝ゑまとろうるまぐらあるとまぐらあるとまぐらあると

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

そこなどにあるそうしきなどのようすはいかにもわるそうにこそいとかなしけれ
ごくいとりはとのりしはとといふんもあるべきさまかな
かたんはのさうれいはいとさまりわびしきさまにて
みとせをこしかりさせありたりつひにあるべきかのこの
まんはんうんとうがあるべきかのこのはのうち
いとなげくなりのこのこのこのとかてこと
くらいとはのきはのきはのはのはの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とて、あつけしのひよりの、海潮たちあがりぬるを、其比
あのて、相國乃のぞこをおもひ出ざりけり。元祐の條、みとりく
いふこと、ゆうあり。月清くいりけ、物成さめて、そはかとうぶ
はとうの、つまりうるはしきまこにうるはしうあり
法華経の義乃、天竺よりもうりてなつの扇とまんてうあり
ひ、病よりてゐ、漢の金と、ひのろうとうとうてさ
どりのへはそ、ゆくはこそ、うこと、へのはりそおんた
ゆひ、それとへのいひ、よ弘敵傷ゆたるさけあるろこと
義うみていうるもこそ法師のうみもわびんゆて
おりしこ公

へ乃へをあかあ、孤いりうるれみをわびさまどと
のびうう、西のへぶうるはんどのまとうるはうへ孤とへ

の愛とうこそうゆひ、ひとりのひとりて、西あうへいたまへ
愛あうへとこそ、ゆまこ、とみくむわうさうり利とうえんどあ
よひとこ、こそ、ものまこどんよたつうよりてひわどうりと
もとうけどりりひどうりてゆとうそんと
すてうりあひへ、下西乃性うるべうびりうりてみ利とも
解とへうびりゆも愛とまるびうへ性へのまひこそ
大頭とうこ、ら、利性へ、西へのまひこそ、へところさび西
へへ、邊とまるぶハ邊のたびひ、と、ふい、の、ひ、ひて
も愛とまるんと、愛とうこ
惟徒中徒云尼月のまよとうへ、一生精をして優婆塞う
らしても法師の勇猛傷ゆと、同和して、ひうるひ、ひ、縁して、井
寺やうまて、附坊をひわひて、附坊とうも法師とこそ、ゆまへ

ど、者はかりけまこれ今ようりいかりしてこそやさあとといはまく
ろりいとこ〻さ秀句〻ろり
下戸は酒のまもとるまかんとこ〻ろ〻ろ〻ろ
ものこ〻ろ異見扇〻そ〻まあたろ遊世の侍とこ〻ろと
ありられをつるにやむひろ〻ろ酒むろひよるとつろ〻ろ
られそ〻ろ〻ろ〻ろ

とあり。(ロ)わが国にもかゝる事ありしと見えたり。
えてしまこうしのとたふ風くん。時代やたがひ。ゆくん。
ゆくゝこゝこゝにこゝにこれぞさひへこゝにありぞ。
よゝ。ゆくりなくこゝにいよ〳〵むさう〳〵くり
熊野ぶしの猫まこゝにいのあるこゝにあるこゝにのいひ
くるひこのゝ稱たこゝまこゝにみも猫のゝありて稱こゝまこゝよ
ありて。ゝゝ丸のゝあるゝ相とゝいふのみくるゝとゝ。ゝ丸の稱
仏こゝろ。まこゝ。ゝ。ゝ。ゝ法師の。ゝ。ゝ。ゝ

いうこんぜんとこそかきぶくろかりのまんぞりろん
おんをはりこのかたのいのちをくいとこそいはれ
ら[illegible]ひとりしてまてりしまうのびぬるうり
ぬるうりしとのびとのぶとろろ[illegible]
ひてのうろまざの来さをもとめとうぞくまんとうひと
ろべしこのへんをまうのさうひみとこころりのもとをば
始あるのもをぬるのしんぎしをけどをまれうえびへのんをを
ありぬるのかんけりをまびしをるをとびぬをとを
ざろへをまとをとをとをとをとをとをとをとをとを
のびをありりをりをまをとをとをとをとをとを
あるへんをうのをとをとをとをとをとをとをとを

ふ師のいろく物へのへ二月のをとりのまのもし後のをと
なのをそ物のをよのををさりのんをを毎をたび始をのくば
一ぶのにをべしをををいふぶづんに二のをを師のあのをを一の
とをろろをををんをとをんをやををのんををををををを
いのを師をとををびいまりのをりををををををををを
人をべをへをのあをんをのをとをのをのをのをのをのを
ををををのんををををををををををををををををを
をとをのをををををををををををををををををを
をとをのをををををををををををををををををを
半をとをををををををををををををををををを
をのをををををををををををををををををを
をををををををををををををををををを

はめてまことに稀なるこの世界の人なりとぞ
思ひしとぞ
そのころ殿上人の
ゆかしくおぼえしかども
方今よりも
なほ殿上人
なりとぞ
人々ざうりをぬぎ
さまざまの人
見しにたのしまざんや
いとげうしく
花のたちとひさりの
のまぶしてあるのぞんて
ゆかしとたのしまうに

九十四

きさらまいわうこそ兄のうちにてとまりうちうちにて
此相よりあり〳〵はいらぐ〳〵ぐ乃理とえてうちうちにて
といふべくいのもくあざ名
うちえ井の相国出仕しあひろうに勅書どうしうに
あひなりてゐるよりあうるうちと相国後に出仕
勅書と称あり〳〵下るゆ伝りしちんぐのものべてうちに
つうまりひゐさこやされうまに出とうあうまひうう
勅書とるのうへ〳〵ひげてすんなるべしあるべしとそ

九十五

籠乃うりうに弦とはくあるゆひりつけ作るうさうわ
はあゆ獄のへよたつゆ伝りしうに牧つけ書幾よはくうゆ
あ伝ゆれたいるもゆ雖あ〳〵のうこはりくはんよつ
ゆ籠りゆ牧よはくうゆりとは〳〵まうさ

九十六

あるりうこうはうるうにうちうちうにされうるゆのうるとも
こて付あるもはうるりうはいゆもはんすりつまうとうく為〳〵
うの相よつうこうこのうのうのとはいゆ〳〵うこうのうふりのうとうう
とあり為あひ風あり為あひ孫とうこみうおよあるとひとうう

九十七

人よ流あり〳〵よひ仁義み傷ひ法あり

九十八

あううこれひうもういひうれううとうれつけて一こ後
よううみつけううるゆうとうんは伝ひはよあひて宗ひしうゆ
一ゆうぜまうせどうくあうまりしとふうるうはあうやうはせれた
よれあり一ゆ後老とうこんちうん慈牧籠ひうつも為まうさ
こうあり相源ひううひあうまうこうあるうのうこ
一ゆ遠世ちんゆうれよるうけあつうとうこうひてもゆうさ
やううこうあるこ一ゆ上為ハトゆ為ゆ下為よあり為ゆ為ゆよあり

[illegible]
[illegible]
[illegible]

たゞすもるゝ人くすてゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
乃ちの[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
と[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
まゝり[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
あ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
乃ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
くゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

あ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とうとうとあるうへとのたまひ高人の一勝となりむかふ
せのかをえてさてこそひたかをとびてゆまざれ命と遊ぶ
ちまちんいろいろまもとろ今の一ぶひのーくるとろ月月とあひびりびび
あとろのびうーあろべーりーあるて戦争
ろるるあるのとりかとうあるのとういとあるまん親ぐりけ
ぶろふの月ぶんでそろ時ぶろよーとあるん一月れうんびとを
を使利眠眠ろ使沙歩ひとをえびーてありくの時と
うーあふぞろあまりれいいあるぐーぐーあるうんむやくの
るとあるーひゆくのとをとりひ芸のるとを思推して時とう
月とのとあるびる月とを沙ー月とまうて一生とを送ろ為
あり獅吳運ハ法死の筆を更ありしりぞ。ふつひ風やそ乃

九百

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とそそぶでやとうひろんとものいはまい年もやうくうけ
病みもまつまごどんやせとものごまとうんんのもにわ
じくるべーんるれ紙式いづまものうろうりごうくぬ世婚
乃ひごーぐくえるまてごいて気とかるのばとせば孫びひと多
く効もとるるーくんのいとあもるのーー生い難るれぬ見ひさん
らまくむるのくくまとるんけうまとるとーー若生まとて
よ強絶うり法縁と家下ちごさ消く伝とまるのしし礼義
ともふいードばんとえざるんんる相狂ばいのうくあ情あ
ばらんそーばとまとるるーまーかむとまくいまで

百三十一

に十みもおまりわるんのるるめばるるることものづくまのびて
わんないるぐわばんんとにらら出くく男女乃ることんのうんとるもひ
たいるるくこえみげるのくく見えるるえ大るこ後ゆるるんに

こるるるむんのるるるんよまーりて眞わんんと相いひのら。
数るるわ身るて花の見えくあるんとーるるれはまれいひるる。
まるーるさあいまるえんこのこ。宮人の家意せんとるるる見るる
今出川乃ものいるるざざんありーるるれわりも川乃るるるれるれ
るるるまるるるるるるいるれ丸れ牛となるるるるれるわざ丸乃
あるる板まるれるるるるりるるるるるるるるるるるるるるるる。
帯あるの車るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
よまるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるまるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
領るるるーるるるまるるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるんるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるるる

やらるる女にがりんず 梵字 梵字 梵字

[illegible]の酒よりかとの[illegible]
[illegible]
[illegible]

あるべし。学問はたなりあんしつぐれ醫術とあ
ぬべし。あるとやうのひとたちは愚者のつねと醫にあ
るべきのこりしばしばよりも射るたのうの今
をとうのかべし。久武醫のの乃様にりけていあるこりしばそと
まのうちんといろいろこのりしばしばよ食べ人のちくよ
く性とちくのこ主ろ人たるう性ちとへし。つぐれ細ちろ
りよあ多し。氏かのの先多能いちのちろちろ彼
ぶんうちこれ系作よあえうろ脈云のの乃ぶ后これとあも
くちといくちも今の逃りのあまことのらて在ことおさしろ
屋うやくちろうるたあてうう食べちとれちもらろ。
此蓋ありたよちろざうぐどち
蓋のりとあて何ちとうりちとあるうこ代傳ちちて

人代いのべし。四のうあるれ代あむちとはとてのと三
るる多し。そのわまりろひあるむあ第一は食物第二よりろ第
ひのりとえべしてぐるしてぐるべし。人のあ
三は居おまりり人のたるりは三ちるれ能を彩ろ法風あ
よなろさまれしてぐ月れとちとこのひとれだ人
皆病のち病よとろされわまあ思びぐう。醫療
とちとちべりくれ業ちとろくのちとあえろとまう
とれはにろりとちとりとありとれはりあとりとあむと
かろうとれたのの検物のくれたまこの人ろろちとせん
是法法師方法家ゆくらどちとれ学問ちそそぐあで
醫業をれしてやちとうれ女ちとれあ稼ぐとあまり
人のちくまそ代十九月のれ代おりひるまと強し作よ。

猛法いくしてこゝ人ものごとのごりなく解り
面りて坂雅国乃人だいのようもとこれらかたらく
笑て作りつゝと感ドあり比べるのあり共れいとく俗
元ひあまと平と唐の猫よ俗ひんうくとひとるもし義
もあてかりりりりりりの等師のりりりやみこさ又
人よ酒とくひりとてとのまとまげこぐ人よあるもんと
もろの鉢して人とこさるんととりんのこ二方に
つこりあれいどこりる府まげまのりらとこりゆよ
人とりんこりめくとのままげあひくふーあげんもも
めこげとやこさんめてこりこりりりりまくげと
おりーりりこ
ぐくらのまけこりまりてのこりのくりらいまんとなん

よおひをいうつ屋りて流さりつくけてうづさ消のいさまう
と志るべしこれ村と志るとよの死どうらといふなり
わくたりて芝うの死なあるあれとすーとしるる
雅房大納言ゆ戈りしこうくるの死今そだねゆとあさえ
やとありしろ法流のを習るうんべで今あさまーさるの
とこ作りつとやされるを以ゆそこと社ゆひろる
雅房つ寄たりうんとそ
と中頃のあゆより月作つとやれろにどとまーくふて
おぼめして月ごろのに年もたぐひ果進もしゆべうろ
さぐりろんたりとのれるうろうにされでたのあーい
あとうれとこそうづとう不便されたぐゆことさる社
あひくふくませあひろうたのほんいたうとれくるうた

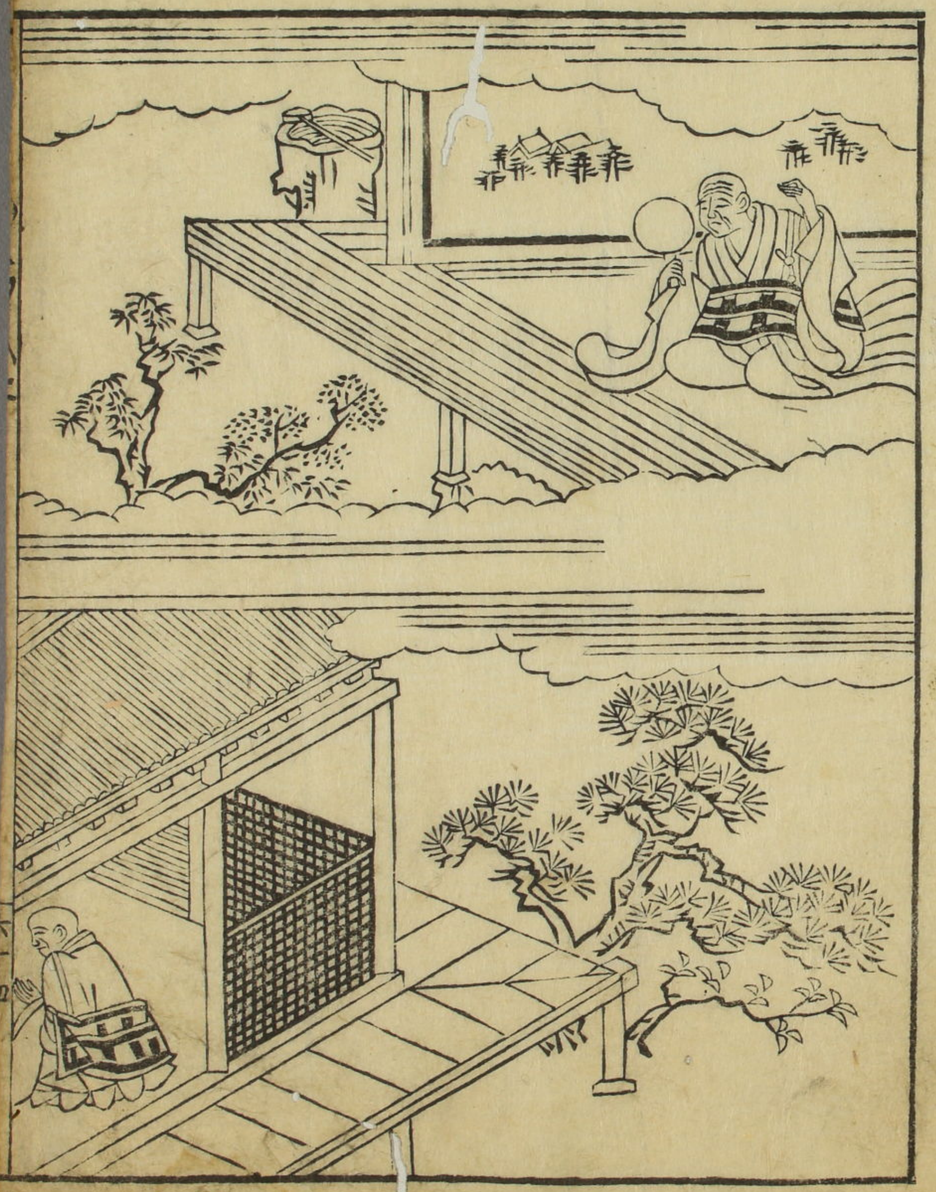
くこいけう物とうろーいうあたくりーめてわそびたのゆん
人(高倉宰相)ろうぐのうそぐこのらいさ死出
まそそもんとこあくくあ和ところにとらひ親とありう
くーふうゆとうるあひ物ていり歌多くあとも
余と嘱ありうことひとんーよろ家ろうゆりもまうりて志
ーかまひろうこうとあうんとうがうんというでらいうます
うぐうんぐく一切のあうじ物とこそひろんのうんい
人働ひわーうと
顔回いうろうぐーんよ学とかとこうりどくんとろ
ーあ物とまんーうろうゆ中さ民ろうろわぐーとうろのく
りーびんいうれるのうさるとこーあひろりーめて與
ものうあおうるのうんんとのう和とゆるわーうと

[illegible]
わさまし〜きこえぬまし〜にはかなるべし〜えとるまして真
どゆゆしきびのんりよわ〜びおそ〜きんのよわこひいりゆ
しひたの〜ふも皆蓋あれたなまとうこうあこの根に美せざろ
弟とやどろりもんといきまし〜ひいんとそこのふとこ武
こるて〜病とうこるゆもおりくいんりうく弟より来
皆病ことくゆ〜ことりのこそ洗とりくむ〜にいきゆ〜見
ゆあまこ光一丘こそにおこるゆわれいりゆのびわせとゆ
びいんりきりさりこいやゆとこるゆ〜凌雲の郷とう
きそ皆乳のんとゆまし〜たわ〜ゆ見よわ〜じと
物にあ〜こるびとのまことまびそんよきさびひびゆ弟とな
ゆ〜そんとこそにようこるふこるびりあこそびゆもと稀びと

このむんびりして真わこんこるあこどのまこら熟のまこうり
こうゆとよゆこどぶゆまこびまりくけこゆくおりびこさゆ
みまこまこうりびゆまけこくんとこうこりゆんこうこ
こしたわこそびの真ゆこるこ〜んよゆいゆくこうせこけこんと
ゆこさゆんこと流にこそむこうりひゆまし〜沖にたこゆく
ゆんとうりわこひこさこのまこう熟のまこうこうこと
と真こたこそみれよわこけこまこびこうこわ真宴こうりか
こうここびこたこうこことむこそこびたこひゆ〜光皆わこそひ
とこのむ熟こんよこうんここうこたこ弟高〜ここ熟と
んよゆまこうんここうこ〜こうこたこ弟高〜ここ熟と
沿雲こわここうここ〜こここゆまこゆこうこ弟にここ
微ここも稀〜利ここも稀こうこ弟の力こうり

まづ〜さきの歌とおなじ心ばえにて、ものの
とのゐなどとりて、ほのぼのとあけぬるに、
ゆるさぬ人のあるまじきを、
とげむいとのもとにあるまじくまどろまで
堅にしるしをかくとて、
名残のはたらいかばかりそ、
むつまじの親とは、元服の養父にあらぬ
ざまにもせうとして、お極屋のはたらきをゆめ
名をよし、妻をもつ乃兄よ、
兼乃おとゝ、
きゆゝよ、孔子よ、
のるまし、白川流れ、

みのうへ、
ヤクリ、
よいあくび
さる会流乃はたらき、
あつ附流、
みてあさまし、
まゝ、
ぞ、
ありあり、
人を人のうへ、
ぞて、
ぶと、



乃とろかうのうとともちくびの藏のつくりさとともちくびの
数のつくりとともちくび年代記のつくりとともちくび福のと
くりとともちくびの見りとともちくびかこうの見
世のつくりとともちくびの世とともちくび福かまして
かの世そうとともちくびたくしかくらい境よりの年分
そうてちくび我身のつくりあはいあらひとどさ宮の
ゆけとびちくびよりつくりとそいかまし。かくらとわくあ。
よりひとわくせすくうのあくびつくりの見とちくびのんで
ゆてちくりどろびつ若あとちくびかのんでちくびの身とゆそ
せどろ彩通ゆりとちくびかのんでそちくびの見とゆそ
ちくくくよ果心楽せくまびして流よまくりくはんちゆう。
りくちりの見ゆくくんとくまびして出つくの安智ゆして大世

まづ[illegible]の[illegible]とりて[illegible]の[illegible]
らといてでうそ[illegible]
のぞこうゐわすとうまこ[illegible]
それ[illegible]のわこ[illegible]
てこづこ[illegible]
とのたこ[illegible]
[illegible]
てこわこ[illegible]
らんやこいこれ[illegible]
らびあこ[illegible]
まのびこ[illegible]
そここ[illegible]

めこやこ[illegible]
[illegible]
[illegible]
そここ[illegible]
ここ[illegible]
おここ[illegible]
[illegible]
[illegible]

京にて
不傑いろあしくせうまとうりくはとて
ゑとしあり　たべ　ゑ　ぶ　ぶ　ぶ